

令和2年度

庄内町予算編成と施政方針

令和2年度の庄内町の施政方針

「新・庄内町の船出のとき」

庄内町長 原田真樹



庄内町が合併し早15年、時代は平成から令和へと移り、本年5月1日には2年目を迎えることとなります。平成の時代は、阪神淡路・東日本大震災、台風や豪雨等、全国的に多く

の災害に見舞われた時代でした。本町においても、線状降水帯による豪雨被害や史上最大級の豪雪等に見舞われました。一方、令和となって初めての冬は一転、観測史上最少の積雪となり、今後の地域経済に及ぼす影響を心配する状況となっています。さて、今年5月にいよいよ合併以来最大の事業である新庁舎が完成し、新・庄内町として本格的にスタートすることとなります。令和元年度は、まちづくりの中核となる組織機構の改編を行いました。令和2年度は、人口減少対策に焦点を当て、社会増減に大きく関わることから「移住定住係」を新設して移住相談窓口の一元化を図ります。昨年度実施した「庄内町幸福度アンケート調査」では、町民の64.5%の方々

総合計画」と「庄内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に、「持続可能な庄内町に向けた実際の効果を現す年」と位置づけて予算編成したところです。また、基本方針を「合併の総仕上げを旗印に、新庁舎の開庁を新・庄内町の船出へ」と掲げ、その目標を、将来に備えて、各年度の決算の黒字化を図ることとしています。そのため、収入面では、①国・県補助金以外の財源を探す②各種税以外の収入源「ふるさと納税」等の大幅な増額を図る③財政調整基金の一般会計への繰り入れは災害など特別な需要に限定する、などとし、支出面では、①収入が増えない限り、総支出額を変えずにその範囲で事業を行う選択と集中を実行し、枠配分方式の採用②必要最低限のサービスを行うために、質は落とさず量の変更で総額を抑える③他市町村との比較を行い、公平・公正の観点の強化する、など特に行財政改革の面では、民間の感覚を取り入れ、①税金を使うことへの価値はあるか②成果の評価判断は正しいか③前年同様の予算で良いのか④真に必要なもの、欠かせないことなのか、といった各種の判断をすべての分野で厳しく問い直した予算としています。一方、前年度までとの比較で大きく変更するという事業については、これまでの経過を尊重しながら、自ら努力してでき

ることか、そうでないことか、などに気を配り、将来に備えて町の持続可能性に挑戦する予算としています。結びに、令和2年度は、国の財政状況をみると、社会保障、防災や経済対策等厳しい財政の中で、過去最大の102兆6千5百億円余の大型予算としています。政治と経済は常に、時代の大きな流れや変化に合わせて対応が求められています。町としては、あらためて、「新・庄内町の船出のとき」と意を強くし、これまで以上に柔軟な思考と公正・公平を旨としながら、町の経営を行ってまいります。また、変化や課題に対応するということは、新しいことへの挑戦と捉え、更に一歩前進を心がけることといたします。



が本町に住んで「現在、幸福又はやや幸福と感じている」と回答しています。また、幸福に感じる14項目の中では、高い順に「自然のゆたかさ」(77.8%)、「家族関係」(65.6%)、「地域の安全」(64.8%)であり、低い項目は、「自身の学習」(22.4%)、「必要な収入や所得」(28.4%)、「歴史文化への誇り」(35.0%)といった順でした。また、「幸福かどうかを判断する際に重視した項目は何ですか」との問いには、高い順に「家族関係」(64.1%)、「健康状況」(63.7%)、「家計の状況」(59.4%)、「自由な時間」(45.9%)などの回答で、非経済的要素を含む項目が上位を占めていました。今年度は、これらの意見を参考に「庄内町第2次総合計画」の後期5年間の見直しを行います。さらには、各施策等の情報発信の徹底で、本町に移住してきた方々の「満足度、幸福度の向上」と全国に向けた「庄内町の特長PR」につなげていきます。このことは、これまでの既存のまちづくりから新しい町づくりに向けた「気づき」につながり、あらためて「日本

一住みやすく、住み続けたい町」の具体的な姿を示すことになるものと考えます。また、昨年度は、立川庁舎の利活用、新図書館や武道館の在り方、合併以来15年間手つかずのままだった町内各施設の使用料や手数料等の見直しを行いました。これは、将来に向かって「持続可能な庄内町」となるために避けては通れない道と考えたからです。令和2年度は、「学区・地区公民館のコミュニティセンター化」、「幼保の一元化」など、時代の大きな変化に即した事業の在り方についても検討を深め、財政面からも将来を見据えた持続可能な町の姿を町民のみならず明確に示していきたいと思えます。

重点構想 5本の柱

（重点1）産業活力日本一のまちづくり

観光

●観光インバウンド対策として、庄内空港滑走路の2,500メートル延長を国・県に要望してまいります。新庄酒田道路は戸沢立川間の計画段階評価へ着手となり、引き続き新規事業化に向け戸沢村とともに強力に推進します。

●これまでの観光交流資源等（施設）を見直し、収益を数値化して有効活用の徹底を図ります。

●宿泊施設等の充実を図るため、「地方創生推進交付金事業」を活用し、民間事業者による宿泊施設の新設や既存宿泊施設の増改築等の支援を行います。

●観光やスポーツで訪れる方々の観光消費額を増加させ、「第3次庄内町観光振興計画」に掲げる「稼げる観光産業づくり」の具現化につなげます。



▲まつりで町おこしセミナー

●本町に伝わる2つの「龍伝説」をモチーフに新たなまつりを創出する「龍まちつくプロジェクト」をふるさと応援寄附金の活用で支援します。子どもから大人まで誇れる、オリジナリティ溢れるまつりとなるよう、観光協会と連携して10年構想で取り組みます。

●月の沢温泉「北月山荘」は、冬季休業の試行を継続しつつ、新たに支配人として着任した地域おこし協力隊員と力を合わせ、北月山荘の経営強化と誘客を促進します。

工業・商業

- 持家住宅建設祝金は、県補助の住宅リフォーム祝金と合わせ、住宅政策を継続し、町の移住・定住のけん引力として、また、地域経済の活性化と関連業界の振興を図ります。
- 6次産業化の振興は、新産業創造館(クラッセ)と立谷沢川流域活性化センター(タチラゴ)での新特産品づくりと、新規事業開発を図る起業家支援を強力に行います。

農業・畜産

- おいしい米のふるさとである本町の育種家等について、県・農協・関係団体と共に「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」の価値向上と情報発信に努めます。



▲第13回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト決勝大会

- 畜産部門では、新たに酪農ヘルパー利用組合を中心に畜産関係の活動を通じて新規就農を目指す、地域おこし協力隊員を募集します。

労働

- 商工会と連携し、個店の経営計画の策定と事業拡大や持続的な事業展開に初めて取り組む小規模事業者を支援します。

移住・定住

- 「移住定住係」を新設して移住前後のフォロー体制を構築します。
- 移住者を中心に町との意見交換や交流の場を設け、新たな移住者のサポーターとなる連絡会を創設します。
- 先輩移住者の様子や声を、出張セミナーや定住支援サイトで情報発信し、新たな移住を誘導します。
- 庄内町土地開発公社を活用し、大規模な住宅団地構想を推進します。
- 人口減少への対策および定住化の促進を図るため、3区画以上の宅地開発を行う民間事業者に補助金を交付する事業は、令和2年度に3件32区画の宅地開発支援を予定しています。

子育て・教育日本一のまちづくり

子育て支援

- 「庄内町教育振興基本計画」は、10年計画の中間年に当たり、社会情勢や教育環境の変化に則した施策等を見直します。
- 幼稚園の老朽度調査を実施し、これまでの小・中学校に学校給食共同調理場を加えた13施設の「学校教育施設長寿命化計画」を策定します。
- 校内の通信ネットワーク整備を図るなど、児童生徒のICT環境の整備を推進します。
- 狩川幼稚園・保育園は、幼保一元化を求める要望が多いことから民間活力導入による「認定こども園」への移行を推進します。
- 新たな「子育て支援センター」は、冬期間や悪天候時の子どもの居場所、親子の相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場所、安心して遊べる場所としての環境の充実を図ります。
- 子育て世代を応援し、定住促進と人口減少の抑制を図るため、南野

- 集落に民間が建設した16戸の「子育て応援住宅」を町が借り上げ管理します。



▲完成した子育て応援住宅

児童虐待防止対策

- 庄内総合高校へ、令和4年に定時制と通信制を併設する予定から、通学費助成に加え、就職等に有利となる資格取得支援助成を継続します。

公共施設の整備

- 図書館整備は、基本設計を踏まえ、庁舎建設後の整備に向けて実施計画を行います。

- 立川総合支所は、「庁舎等改修整備基本計画」を基に、新しい立川地域の拠点づくりに向け基本設計を実施し、有効活用に向けた準備をしていきます。

健康長寿日本一のまちづくり

- 子どもから高齢者まで、自分らしく安心して暮らせる社会の実現に向け、健康、子育て、福祉、介護障がい、生活困窮などの業務を新庁舎に集約します。同時に、社会福祉協議会、地域包括支援センター並びに子育て支援センター等と連携し相談体制の充実を図ります。
- がん検診無料化は国の指針に基づき実施します。
- 自ら健康づくりに取り組む「健康チャレンジ事業」を実施します。
- 予防接種法に基づく定期予防接種の接種率向上を図り、新たにロタウイルス予防接種を実施します。
- 地域における救急医療体制確保を図るため、町内の救急搬送受入医療機関に対し「私的二次救急病院救急体制確保補助金」を交付します。
- 令和3年度からの「庄内町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定するとともに、介護保険法の理念に基づき適正かつ持続可能な介護保険制度の運営に取り組みます。



▲徘徊声かけ訓練

- 認知症の高齢者やその家族の支援のため、認知症サポーター養成講座、徘徊声かけ訓練、認知症カフェ等の事業を継続します。

- 町営バスは、主に買い物利用目的の「市街地循環線」と外出支援目的の「幹線、循環路線」について、バス利用出張セミナーの開催により、更なる利用拡大を図ります。
- 高齢社会への対応や総合的な地域活動の拠点づくりへの転換を図るため、学区・地区公民館の「コミュニティセンター化」に向けて検討します。

安全・安心日本一のまちづくり

- 「地域防災計画」を更新し、実情に合った実効性の高い計画に改定します。
- 町単独事業で11年目となる「高齢者運転免許証自主返納支援事業」は、令和3年度からは制度の見直しを予定しており、令和2年度はその周知期間とします。
- 「防災対策事業」を更新し、実情に合った実効性の高い計画に改定します。
- 町単独事業で11年目となる「高齢者運転免許証自主返納支援事業」は、令和3年度からは制度の見直しを予定しており、令和2年度はその周知期間とします。
- 防災対策事業では、新庁舎建設に伴い防災行政無線等の防災関連ネットワークシステムの再構築を実施します。
- 災害対策事業では、豪雨の際に、住宅地に影響が及ぶ宮曾根排水路の排水作業を行う排水ポンプを東北農政局から借り上げるための措置を講じます。



環境共生日本一のまちづくり

- 「風力発電発祥の町」として、庄内町農山漁村再生可能エネルギー基本計画に基づき、民間事業者による風力発電事業など再生可能エネルギーを推進し、事業収益の一部を農林業の発展に資するよう取り組みます。



令和2年度 当初予算

予算

令和2年度一般会計当初予算

122億8200万円

一般会計
 一般会計予算は、前年度より12億9,700万円減額し、122億8,200万円となっています。

【歳入】
 町民税は、個人、法人合わせて3,248万円の増額を見込んでいます。固定資産税は、地価の下落等により931万円の減額を見込んでいます。国庫支出金については、子どものための教育・保育給付費交付金の増額等により、250万円の増額となります。県支出金は、農林水産業費補助金全体での減額等により4,208万円の減額となります。

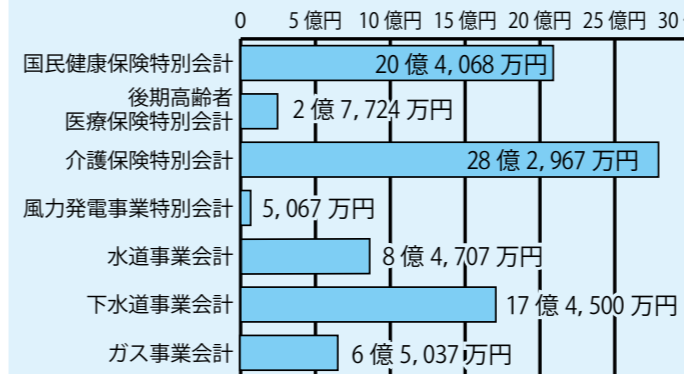
町債は、図書館整備事業債の増額はありませんが、本庁舎等整備事業債の大幅減額等により12億130万円の減額となっています。

【歳出】
 目的別では、総務費で本庁舎等整備事業の減額、民生費で南野児童遊園整備事業の皆減等による減額、土木費では、社会資本整備総合交付金事業路線工事等の減額、消防費では、酒田地区広域行政組合建設負担金が減額しています。教育費は、図書館整備事業の増額や総合体育館東面及び風除室改修工事の増等により増額となっています。

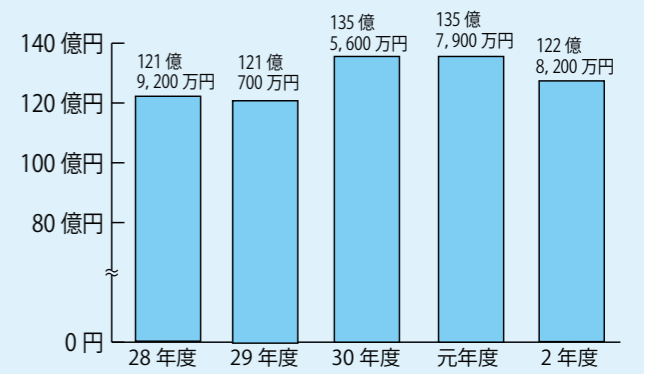
性質別では、人件費で2.7%の増、扶助費は前年度同率、公債費は4.7%の減となり、義務的経費は0.4%の減、予算総額に対する構成比は42.4%となっています。投資的経費は、本庁舎等整備事業の大幅な減額により、51.9%の減となり、構成比は9.7%となっています。

予算を比較してみました

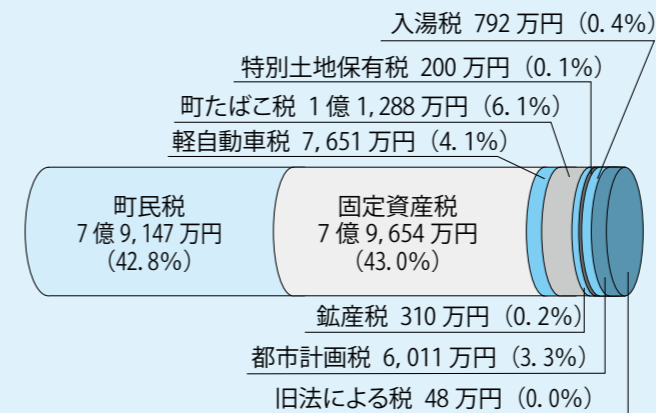
■特別会計・企業会計当初予算



■一般会計当初予算の推移



■町税の内訳



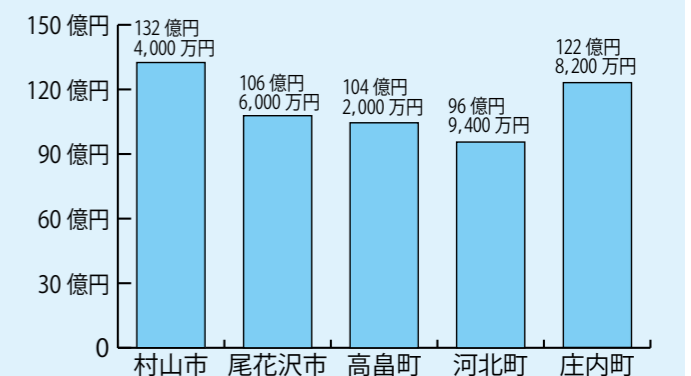
都市計画税

下水道の整備にあたり借入した借金返済額の一部として活用しています。

入湯税

北月山荘や町湯の運営経費の一部として活用しています。

■人口同規模の市町当初予算の比較

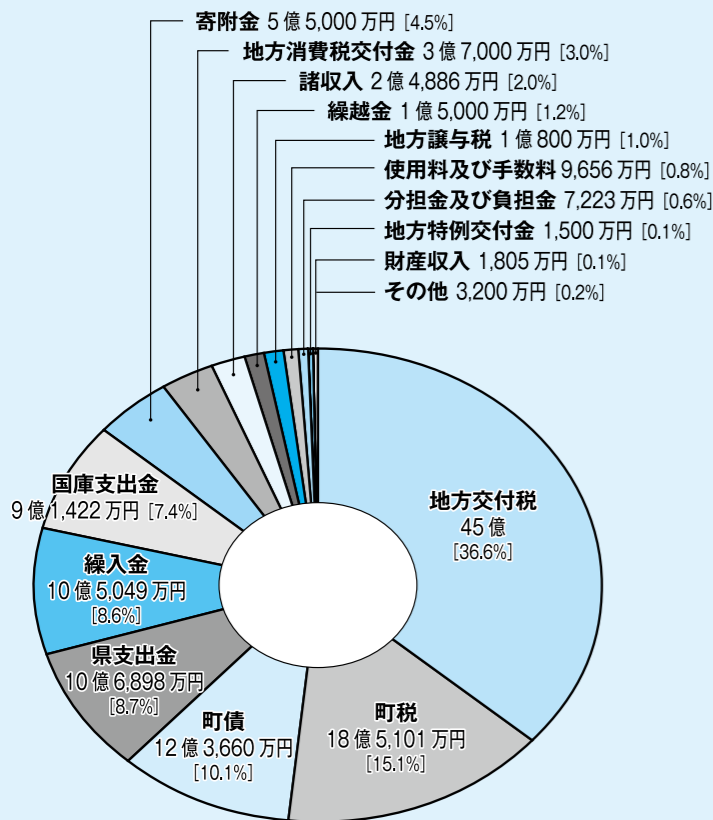


人口同規模

庄内町の人口(20,940人：R2年2月末日現在)とほぼ同規模の県内市町の一般会計当初予算を比較しました。

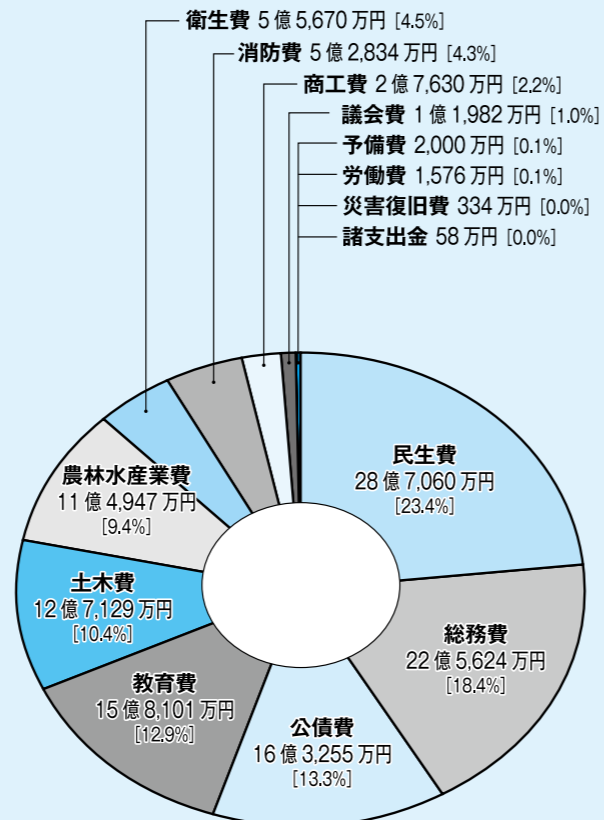
歳入

122億8200万円



歳出

122億8200万円



■問合せ：総務課財政係 ☎0234-42-0130

令和2年度 主な新規事業等

今年度実施する事業の中から、令和2年度の主な新規事業等を紹介します。

公共施設の整備



本庁舎等整備事業…3億9,853万1千円

新庁舎の備品等の整備を図るとともに、現本庁舎を解体し跡地周辺の外構を整備します。

新庁舎情報ネットワーク構築業務

…1億3,329万9千円

既存のサーバー機器等の円滑な移設と安定したネットワークを構築するため、新庁舎の情報ネットワーク構築を行います。

立川総合支所改修整備事業…942万7千円

立川総合支所内の空きスペース等を有効活用し、地域活性化の拠点を整備するため、基本設計を行います。

図書館整備事業…7,353万2千円

新図書館整備に向けて、基本計画及び昨年度実施した基本設計を踏まえ、実施設計と関連する測量調査等も行います。

総合体育館東面および風除室改修工事

…4,587万4千円

総合体育館の東面カーテンウォールおよび風除室の改修工事を実施します。

福祉・健康



庄内町福祉総合相談センター等への支援

…6,078万5千円

社会福祉協議会に委託している「生活困窮者相談支援事業」、「ひきこもり対策推進事業」、「障がい者相談支援事業」および地域包括支援センターの相談を行う職員を配置し、地域共生社会の実現に向けた包括的な相談支援の充実を図ります。

私的二次救急病院救急体制確保補助金

…400万円

救急医療体制の確保を図るため、町内の私的二次救急病院に対して補助金を交付します。

健康チャレンジ事業…17万3千円

やまがた健康マイレージ事業と連携して、町があらかじめ指定する健康チャレンジに30日間取り組んだ方へ「やまがた健康づくり応援カード」を進呈します。

移住・定住支援



分譲宅地開発支援事業補助金…3,300万円

定住化の促進および人口流出の抑制を図るため、宅地開発し分譲する民間企業に補助金を交付します。

観光・交流、農・商・工

庄内町小規模事業者持続化支援事業補助金

…125万円

商工会の支援を受けて初めて経営計画を策定し、事業の拡大や持続的展開に取り組む小規模事業者を支援します。

庄内町宿泊施設整備促進事業補助金…3,500万円

滞在交流型観光地域づくりを推進するため、民間事業者が行う宿泊施設の整備事業を支援します。

地域おこし協力隊事業…3,475万3千円

現在8人の隊員がそれぞれの分野で活動しており、新たに畜産と小さな拠点（6次産業）に隊員を募集し活動中の隊員とともに地域の活性化を図ります。



龍まちっくプロジェクト支援事業補助金

…500万円

ふるさと応援寄附金を利用し、観光交流人口の拡大や「稼げる観光」の構築を図るため、観光協会が取り組む「龍」をモチーフにした新たなまつりを創出する事業を支援します。

安全・安心のまちづくり



大規模盛土造成地変動予測調査業務委託

…85万4千円

大地震が発生した際、大きな被害が生ずる恐れのある大規模盛土造成地の変動予測調査を行います。



庄内町まちゼミ推進事業補助金…23万円

町内商工業、中心市街地の活性化を図るため、商工会が新たに立ち上げる「(仮)まちゼミ実行委員会」を支援します。



清川歴史公園誘客事業…40万円

清川歴史公園のイベントや企画展示など、地域主導で行う清川歴史公園誘客事業に対して観光協会が助成を行い「歴史の里清川」の知名度向上と清川地区への誘客を支援します。

子育て・教育



子育て支援センター遊具設置工事…900万円

新たに整備する子育て支援センターに、令和元年度から継続して、ネット遊具やすべり台などを組み込んだ大型遊具を設置し、子育て支援環境の充実を図ります。